

2020年度事業報告

樋口宗孝がん研究基金様の助成のもと、下記の通り2020年度の活動をいたしましたことをご報告させていただきます。

① オンライン患者会

新型コロナウイルスの影響により、これまでの対面式の患者会が開催困難になったため、月一回ほどの頻度で、ZOOMを利用したオンライン患者会を実施いたしました。

オンラインでの実施により、今までなかなか直接お話しする機会がなかった、全国の患者さんと繋がることができました。また、入院中の患者さんが病室から参加することもできました。今後対面式の患者会が再開できた場合にも、オンライン患者会も継続して行いたいと考えております。



② 旭川医科大学病院小児科病棟での活動

こちらも患者会同様、新型コロナウイルスの影響により、昨年度まで対面で行っていた小児科病棟での学習サポート・イベント企画が実施困難となりました。そこで、季節のイベントに合わせて、工作キットや風景ポストカードなど、病室で楽しんでもらえるグッズを制作し、患者さんに配布いたしました。



③ 打ち上げ花火の実施

AYAがん啓発ウィーク「AYA week 2021」のイベントとして、「HANABI for AYA」と称し、旭川市内で打ち上げ花火を行いました。この花火には、今頑張っている患者さんやそのご家族への応援メッセージや、医療従事者の方々への感謝の気持ちを込めました。また、この花火をきっかけとして、1人でもより多くの方に、AYA世代というキーワードを知ってほしい、そして知ってもらうことにより、現状の改善に繋がりたい、という思いも込められています。



④ フリーペーパー「AYA TIMES」の発行

AYA世代のがんや難病の啓発目的として、2021年4月にフリーペーパーを創刊いたします。フリーペーパーの対象として、病気と闘っている方々だけでなく、がんや難病とは縁遠いAYA世代の一般の方を考えております。病気経験者のみならず、病気未経験の方々の疑問や想いを発信することで、もし自分が病気になったらどうすればいいのか、もし大切な人が病気になったらどうすればいいのか、などを知っていただけたらと思っています。今後、毎月の発行を予定しております。

